

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103169
法人名	有限会社 幸心
事業所名	グループホームつばさ
所在地	愛媛県松山市姫原3丁目3-7
自己評価作成日	平成21年8月31日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎週1回ブログ「姫日記」更新
 毎月1度の事業所だより「つばさ新聞」発行
 月に1度のイベント、外出
 家族参加のお花見、七夕祭り、お月見(いもたき)
 2ヶ月に1回、スタッフ全員参加の勉強会

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所主催の「夏祭り」や「観月会」には、公民館の椅子や机を貸していただいたり、地域の方達にも会場作りや調理、バザーの販売等に協力していただき盛大に行われている。事業所隣接の公園に遊びに来る子ども達と交流したり、ご近所の方から野菜をおすそ分けいただくこともある。
 毎朝、散歩を日課にされている方や、事業所の前にある自動販売機でジュースを買うことを楽しみにされている方もある。事業所では月一回は外食やドライブ等を計画して出かけておられ、皆でボーリングに出かけ楽しまれたこともある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームつばさ

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 上田 八千代

評価完了日

平成21年8月31日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			リビング、廊下に理念と行動指針を掲げ、共有しながらケアに生かしている。	
			(外部評価)	
			事業所では「焦らず 怒らず 諦めず」と理念を掲げておられ、理念の詳細についても合わせて示しておられる。居間に掲示されたり、介護記録を記入する際に職員の目に入るように工夫されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			近隣に公園があり、敷地内が通り道となっている為、会話を交わす場面も見受けられる。また、可能な限り近隣の店へ、利用者と共に買い物に行っている。	
			(外部評価)	
			事業所主催の「夏祭り」や「観月会」には、公民館の椅子や机を貸していただいたり、地域の方達にも会場作りや調理、バザーの販売等に協力していただき盛大に行われている。事業所隣接の公園に遊びに来る子ども達と交流したり、ご近所の方から野菜をおすそ分けいただくこともある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議を利用して、一部の方には理解を深めていただいている。今後は、もっと範囲を広げていきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>看取りの事例報告と話し合いを行い、多くの行政担当者にも参加いただき、賛同や意見を頂いた。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議を2カ月に1回開催して、消防の訓練、看とり支援や外部評価の報告等、毎回議題を決めて事業所の取り組みを報告してご意見を聞いておられる。「会議に出席いただきやすいよう」夏祭り等の行事と合わせて運営推進会議を行うこともあり、その後、感想を聞くようにされている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>難しいケースの利用者の相談に乗ってもらったり、アドバイスをしてもらったりして、何かあれば積極的に伝えるようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>管理者は、市の担当者の方に運営推進会議の議題の相談やケアプラン等、記録の様式についてアドバイスをいただいた。職員は、市主催の研修に参加して、ケアの勉強をされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>やむを得ないベッド柵の使用等には、家族に説明し同意書を頂いて、ケアプランを作成する際には必ず見直しをするようにしている。 玄関の施錠については、夜間のみ施錠とし日中は施錠していない。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、玄関は開けておられ、2階の利用者の方もエレベーターや階段を使い、散歩に出られる方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング時に職員全員で話し合い、職員間での連携を図っている。 事業主から虐待事例などの情報を得ている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護に関しては、ミーティングで話し合いをしているが、成年後見人制度については詳しくは話し合っていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、家族と十分話し合い納得してもらっている。 解約に関しては、他事業所を紹介している。 他にも、介護保険改定時には、家族説明会を行い理解していただいている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等の意見が得られるように、玄関に意見箱を設置している。 (外部評価) 行事開催時、ご家族にも案内してともに楽しまれている。毎月のお便り送付時やご家族の来訪時に、ご意見を出していただけるよう声をかけておられる。	さらに、ご家族同士で話すような機会やご家族が意見を出しやすくなるような工夫を重ねていかれることが期待される。たとえば、外部評価実施時の家族アンケート集計表等をきっかけにして、ご家族の思い等を話し合ってみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング等で意見交換している。 (外部評価) 職員は、日々のケアの中で気付いたことを管理者や法人代表者に相談されている。又、ミーティング時等でも話し合われている。利用者の背丈や状態に応じて、椅子・机の高さを利用者に合わせてものに替えられたり、職員は「利用者の出来ることを行い、日常生活を活気あるものにしたい」と考え、職員の提案で音楽療法を採り入れておられ、ハンドベルを練習して観月会の行事時等に披露されている。	今後もさらに、すべての職員で話し合う機会を大切に、チームワークを育てていかれてほしい。又、職員個々のスキルアップから貴事業所のケアの質の向上を目指していかれることが期待される。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職場環境や労働条件については改善を重ねており、月に1回程度、職員に個別で話を聞くようにしている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 積極的に研修参加を促しており、機会あるごとに研修に参加している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他の施設、グループホームに行って情報交換をしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用前調査やフェイスシート作成、職員の情報交換により、より良い関係づくりに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	初期に本人、家族の要望を伝えてもらうように努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	利用者の好みや習慣を十分把握し、本人や家族の要望を聞きミーティングで話し合い対応している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	言語、非言語にて利用者とのコミュニケーションがとれるよう努力し、状況に応じて自力で行えることを見つけ、その力を引き出せるよう心掛けている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	利用者の多くが、家族と離れ寂しさを味わっていることを理解し、家族への報告・連絡を密にするように努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	自由に訪問、希望により外出などもしてもらっている。	
			(外部評価)	お盆や年末に、ご家族とお墓参りに行かれた方もいる。又、お若い頃の仕事仲間や友人が訪ねて来られることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	レクリエーションを通じて、利用者同士の関係を支援している。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	希望される方には、引き続き事業所便りを送付しており、相談があれば応じるようにしている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	一人一人に接する機会を多く持ち、希望や意向の把握に努めている。
			(外部評価)	
			入居時に、ご本人の生活歴等を聞き取り、その後もご家族の来訪時等にお聞きしたり、職員がご本人とかかわる中から思いや意向の把握に努めておられる。	今後さらに、「その人らしい暮らしを続けられる」よう支援するためにも、個々のアセスメントの充実が期待される。事業所では、現在、書式類の見直しの途中であり、今後さらにご本人の思いや意向を探ることのできるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	利用前調査により、家族や本人の話から情報を得て、暮らしの把握に努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	職員間の情報交換により、利用者一人一人の現状把握に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員全員参加のミーティングで介護計画、モニタリングについて話し合っている。 本人や家族からの要望も反映している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の希望やご家族の要望等を聞き取り、職員ミーティングで話し合い、介護計画を作成されている。利用者の退院後、ご家族等の希望も聞いてリハビリ等も採り入れておられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別の介護記録や職員間の申し送りにより情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>遠方に住んでいる家族もいらっしゃるなので、その時に応じたサービス提供をしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>外出や買い物、近隣住民や保育園児との交流等、地域との関わりを絶たないように支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望を第一に、協力医療機関の医療が受 けられるように支援している。	
			(外部評価) 協力医が1カ月に2回、往診してくれるようになって いる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 訪問看護ステーションの看護師に情報を伝え、相談を している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 職員が見舞いに行き、早期退院できるよう情報交換や 相談に努めている。 また、訪問看護ステーションの方からも早期退院の働 きかけをしている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 事前に終末期のあり方についてアンケートを実施し て、家族の意見を聞いている。 事業所としてできることの説明をし、家族の希望を聞 き今後の方針を共有している。	
			(外部評価) 今年度初めにご家族にアンケートを取り、ほとんどの ご家族が事業所での終末期の支援を希望されているこ とが分かった。重度化した場合、ご本人の状態や希望 等も踏まえて医師やご家族等と話し合い、今後の方針 を決めておられる。事業所では看取り支援の経験もあ り、職員は「看取りについての職員の意識の大切さ」 や「悔いのない関わり方を探っていくことの大切さ」 を感じておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			消防署の普通救命講習を受けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			消防署の指導の下、避難訓練を実施している。 防災マニュアルを作成している。	
			(外部評価)	
			消防署の協力を得て、通報訓練や火災時を想定した避難訓練を行っておられる。二階ユニットから利用者を実際に毛布で包んで避難する訓練をされた。避難に時間を要することが分かり、今後の訓練につなげていきたいと考えておられた。タバコを吸われる利用者の喫煙場所を決めておられた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			否定的、指示的な言葉をやむを得ず使用する場合は、声の強弱や態度に気を付けている。	
			(外部評価)	
			利用者の着替えや入浴、体にシップ薬等を貼る際、同性の職員が支援するよう心がけておられる。調査訪問時、職員は利用者の食べこぼしに、さりげなくティッシュを渡されている様子がうかがえた。	共用空間のみなが集まる場所からトイレの中の様子が見えるようなこともあり、この機会に利用者のプライバシーの確保という点から、環境面について点検されてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			利用者の思いや希望を引き出せるよう、より良い人間関係に配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	体調に配慮しながら、一人一人の希望を優先している。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	家族の協力の下、季節に応じた身だしなみを整えるようにしている。 行きつけの理・美容室がある方は、そちらへ行っている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	可能な方には、料理の下ごしらえや配膳、下膳、食器洗いをしてもらっている。
			(外部評価)	
			事業所では、季節のものや野菜を多く使用して、食事作りをされており、酢物や煮物等、利用者がお好きなものを食べられるよう心がけておられる。おやつのご焼きを利用者が焼いてくれることもある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	一人一人の一日の食事量のチェックをしている。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	自力でできない利用者には、介助にて口腔ケアをしている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	意思表示のできない方は、職員の声かけによりトイレ誘導し、トイレで排泄できるように支援している。 個々の排泄パターンに沿ってトイレ誘導をされている。布パンツとパットを状態によって使い分けておられる。ズボンの上げ下げ等、ご自分でできることはご自身でできるよう支援されている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	レクリエーションなどで個々に応じた運動への働きかけ、水分摂取や繊維質を多く含む食事メニューなどに取り組んでいる。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	毎日午後には入浴できるようにお風呂を沸かし、毎日入る方とそうでない方も曜日に関係なく、声かけで自由に入浴してもらっている。 毎日午後、夕方までの間ならいつでも入浴できるよう準備しており、毎日入浴される方もいる。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	夏、冬は特に室温に注意し、安眠できるようにしている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 各利用者が服薬している薬の目的、副作用、用法、用量をノートに記入し、理解している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) レクリエーションをしたり、手伝いをしてもらったり、イベントに参加している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 月に一度はイベントを計画し、外出している。家族にも声かけをして協力してもらっている。	
			(外部評価) 毎朝、散歩を日課にされている方や、事業所の前にある自動販売機でジュースを買うことを楽しみにされている方もある。事業所では月一回は外食やドライブ等を計画して出かけておられ、皆でボーリングに出かけ楽しまれたこともある。	さらに、利用者個々の行きたいところや懐かしい場所等を探り、利用者個々が出かけてみるようなチャンスを作ってみてはどうだろうか。ご本人やご家族等とも相談しながら取り組みをすすめていかれはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小額の金銭管理ができる利用者は、自動販売機で飲料を購入している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は自由に使えるように、本人が訴えたときにすぐ掛けられるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			利用者の協力を得ながら、リビングや廊下の掲示板に季節を感じられるような飾り付けをしている。	
			(外部評価)	
			窓が大きく取られており外気や自然の光が入り、窓辺でくつろいでいる方も見られ、それぞれ好きな場所で過ごされていた。調査訪問時、紙細工作りや、塗り絵をされている方の様子もうかがえた。利用者の方が居室を出た際、共用空間の方へ向かえるように矢印を示して、間違わないよう配慮されていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			リビングなど三ヶ所にソファを設け、自由に過ごすことができる。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			本人や家族と相談し、できるだけ馴染みの家具を使用してもらっている。 仏壇を持ってきている方もいる。	
			(外部評価)	
			居室には、ご家族の写真や、ご家族が手作りした手芸品を飾られていた。プレゼント用に毛糸の靴下を編んでおられる方もいる。馴染みの家具やテレビを持ち込んでおられる方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			自分で洗濯できる利用者には、物干し竿の高さ等に気を付けている。	